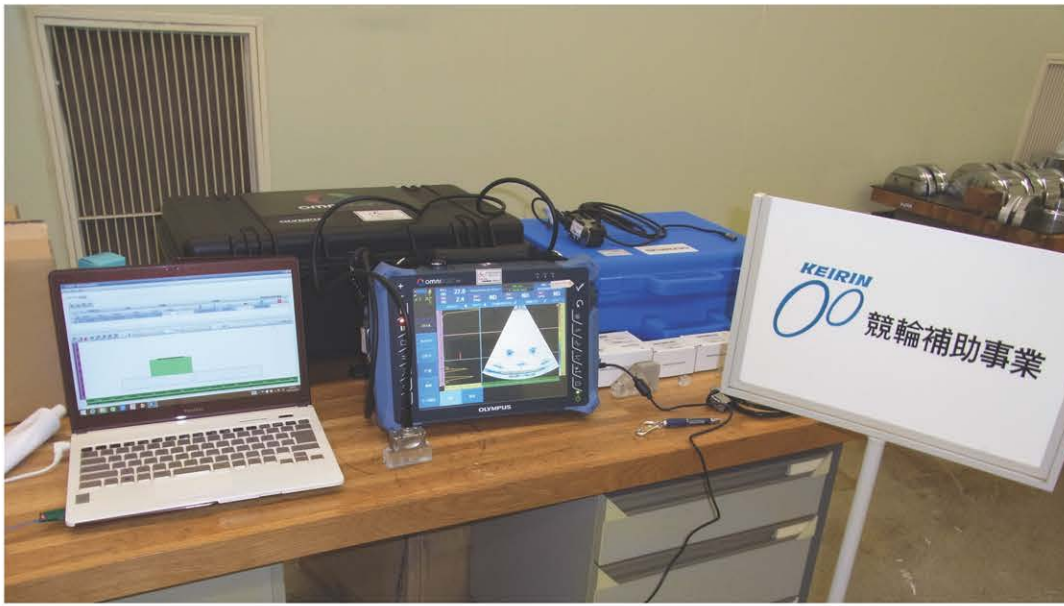


公益財団法人JKAの競輪による補助事業(自転車等機械工業振興補助事業)で導入した機器を紹介します。

平成27年度導入機器 フェイズドアレイ超音波探傷装置



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業



オリンパス株式会社製 OmniScanMX2 仕様

- ・最大使用CH数:128、同時励起CH数:32
- ・パルス幅:30ns~500ns(分解能2.5ns)
- ・周波数帯域:0.6~18MHz・送信電圧:40,80,115V
- ・スキャンタイプ:セクター、リニア
- ・データ表示:A,B,C,Dスキャン

用途

- ・機械金属部品溶接部の割れ検査
- ・鋳造品のボイド、割れ検査
- ・配管内部の腐食による割れや減肉の検査
- ・複合材料の合わせ面の割れ、すき間検査
- ・セラミックス製品の割れ検査

フェイズドアレイ超音波探傷装置は可搬型で、現場にて測定することが可能ですが、測定対象物の大きさや形状、割れやボイドの大きさによって検出できない場合もございます。装置に関する詳細や、測定に関するご相談は担当(電子・材料産業部 材料グループ)までご相談ください。